

つかさ会 会報



2021.3月

会員のみなさん、こんにちは。厳しい寒さにも終わりがみえてきました。岐阜県の非常事態宣言も2月いっぱい解除され、窮屈な思いから少し解放されたように思います。引き続き感染予防対策をとりながら日常生活を楽しんでいきたいものですね。この1年間は感染予防対策のもと、みなさんと直接お会いできる各種イベントが軒並み中止となってしまいました。来年度の予定は新型コロナウイルスの流行状況が読めないため未定となっておりますが、決まり次第会報でもお知らせ致します。

さて今月は、岐阜大学医学部附属病院西7階病棟の薬剤師 浅井奈央先生に「さかえ」の読みどころを紹介してもらいます。



つかさ会のみなさん、はじめまして。3月号を担当させていただきます、薬剤師の浅井と申します。昨年5月頃から西7階病棟の担当薬剤師として入院患者さんのサポートをさせていただいております。新型コロナウイルスの影響で、おうち時間が増えましたが、みなさんは家でどのように過ごしていますか。私は昨年4月からラジオ英会話を始めました。毎日継続して続けることで、英語がペラペラになることを目指して頑張っています。

今月の『さかえ』では、「糖尿病患者さんが手術を受けるとき(P.5)」が特集として掲載されています。糖尿病の患者さんは、周術期においてインスリンで血糖コントロールを行う必要があります。普段は内服薬や食事療法のみの方も、周術期にはインスリンを使用し血糖コントロールをしていただくこととなります。周術期に血糖管理が必要となる理由としては、手術時に血糖値が高いと感染症のリスクがあがってしまったり、創傷部の治癒遅延が起こってしまったりするからです。手術に際し、血糖管理が必要となる患者さんも多いと思いますので、興味がある方はぜひ読んでみてください。

また、「糖尿病とインスリン!!(P.34)」では、2型糖尿病と診断された男性と1型糖尿病の男の子の漫画が掲載されています。糖尿病の基礎知識について、二人の会話を通して楽しく学ぶことができますので、糖尿病の知識を自然と身に着けることができます。こちらもぜひ目を通してみてください。

これから少しずつ春の兆しがみられる季節になりますね。最近では、春の日差しが暖かく感じられ嬉しく思います。日中では寒暖差もみられますので、風邪をひかないように体調管理をしてくださいね。

